

女性が切り開いた研学の場 ——女性の北大入学100年



1941年理学部数学科に入学した女性たち

北海道大学大学文書館1階の沿革展示室では、第3期企画展示として、「女性が切り開いた研学の場——女性の北大入学100年」を開催しています。

戦前期の日本の教育制度は、女性が大学に進学することを全く想定していませんでした。大学は男性のものであったのです。しかし、“学びたい”、“研究をしたい”という女性たちの意欲が開かずの門をこじ開けていきます。

1918年、加藤セチが北海道帝国大学農科大学（後の農学部）に入学を実現してから100年。下記1.～5.の構成のもとで、戦前期に北大で学び、研究をした女性たちの姿を追います。

《展示の構成》

1. 大学の裏木戸を叩け ～加藤セチ～
2. 産業振興に貢献ある研究で博士号
～本間ヤス～
3. 実力でわたり合う
～理学部に入学した女性たち～
4. 女性たちの理解者・支援者
～大学人の振る舞い～
5. 第一線の研究者として
～大学院生・大学教官の誕生～

【会場】 大学文書館1階 沿革展示室

【日時】 月曜日～金曜日 9:30～16:30

※休館日（祝日、年末年始12/29～1/3）を除く

【期間】 2018年9月28日～2019年7月まで（予定）

【展示ガイド】 ご希望の方は、大学文書館事務室までご予約ください。

北海道大学大学文書館

〒060-0808 札幌市北区北8条西8丁目

TEL/FAX 011-706-2395

